

## “ノーモア・ヒバクシャ”継承の拠点を各地に ～ 北海道からの報告

### 1. 被爆二世プラスの会の結成(北明)

被団協二世アンケートの実施 北海道分集計と発表(2017/5)

被爆二世プラスの会の結成(2017/5/28)

○被爆体験を学び伝える ・健康問題 ・被ばくの問題として ・核兵器の廃絶  
被爆二世プラスの会の活動

○被爆者協会の道との交渉(「意見交換会」)に同席(2017～毎年)

○要望一二世健診の個別案内と「二世手帳」、健診の充実  
会員 現在 55 名(二世 20、被爆者 11、一般 24)

### 2. 継承の活動(斎藤)

親世代とともに

○被爆の体験と原爆展(7月)・追悼会(8/6)・核兵器廃絶に向けての取り組み  
継承の活動

○被爆者協会・ノーモア・ヒバクシャ会館のホームページづくり

多彩な層が参加して(2018/5～2019/1～2020/7)

HP [h-nomore-hibakusha.org](http://h-nomore-hibakusha.org) ツイッター [twitter.com/dohidankyo](https://twitter.com/dohidankyo)

○絵本『北の里から平和の祈り』の制作(2020/6)と頒布

英訳は北星学園大学学生

→ クラウドファンディング(2019/9～2020/2)

○広島ピースツアー(2019/9) “親の被爆地点に立つ”

現在長崎ピースツアーを計画中

語り部活動 全道で6名の二世が語り部に

### 3. 二世の立場から(松田)

私はなぜ話すようになったか

今までの経験から ・恵庭で、北見で、旭川で、札幌で

・シャンソンとともに

・街頭で核兵器廃絶を訴える

二世としての私の思い

### 4. 被爆者協会とノーモア・ヒバクシャ会館の将来問題(北明)